【奈良地方気象台の沿革】

明治30年1月1日	奈良県立八木測候所（２等測候所）として設立
昭和14年11月1日	国営移管により八木測候所と改称
昭和17年3月30日	橿原測候所と改称
昭和18年11月1日	文部省より運輸通信省に移管
昭和20年5月18日	運輸通信省が改組され運輸省所管となる
昭和28年4月1日	橿原市から奈良市（半田開町）に移転し奈良測候所と名称変更
昭和32年9月1日	機構改革により地方気象台に昇格
平成13年1月6日	運輸省は国土交通省となる
平成25年10月1日	組織改編により課制廃止となる
平成29年3月9日	奈良市半田開町から奈良市西紀寺町に移転

【奈良地方気象台の組織及び業務実施体制図】（令和６年４月１日現在）

※通常は、点線で囲んだ上記３つのグループに分かれて業務を行っている。